

組合員の声を反映しJA事業の充実へ ～令和8年度春期組合員座談会意見集約～

JAは3月16日から26日まで、管内13会場で春期組合員座談会を開きました。役員や幹部職員が地域へ出向く座談会は、組合員の声を聴く大切な場として位置づけており、広く組合員の声を聴き、JA事業の充実を図っております。

座談会では、令和7年度の事業実践経過や令和8年度事業計画の素案、第4次中期経営計画最終年度の振り返り、第5次中期経営計画の素案、JA自己改革工程表について説明しました。

今回は、座談会で寄せられた主な質問や意見・要望を抜粋し、JAの考え方や取り組みを紹介します。



座談会での主な質問・要望

◎宮農・畜産部門関連

Q 令和7年産米の概算金価格は非常に高かった。輝倉庫には今在庫があると思うが、販売先は決まっているのか。

A 輝倉庫の米の在庫は、JA全農の他、独自販売についても各相手先とすでに契約を結んでおります。

Q 令和8年産の米の価格は、JAとしての程度を予想しているのか。米1俵作るのにどのくらい経費がかかっているのか把握していると思うが、それを考慮して米の値段を考えていただきたい。令和7年産米はあまりにも高かった。高過ぎても売れないと思う。

A 令和8年産米の価格は、JA管内の生産費等もありますが、食料システム法により1鈔当たりにかかる生産費に基づいて価格が決まってくると考えています。新聞等では玄米60^キにかかる生産コストは2万437円（令和8年3月時点）と出ており、これが基準になれば、1袋（30^キ）当たり1万円を下ることがないと期待しています。価格については、今後協議してまいります。

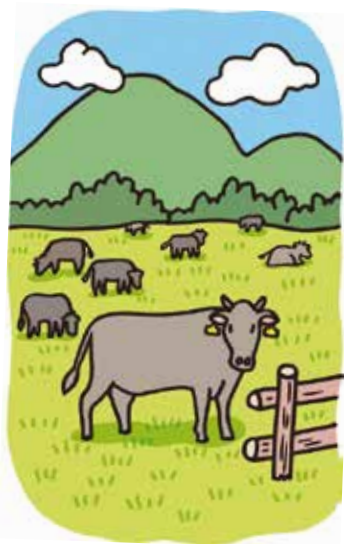
Q 鳥獣の被害が多くなっており、このままでは

安心して営農できないうえ、離農者も増えてしまう。JAは全国組織であり、国や行政に働きかけをほしい。

A 鳥獣被害はこの地域だけの問題ではありません。電気柵はある程度の効果がありますが、問題解決にはなりません。県内各JAとも一致して要請を行っている他、国会議員と話す機会では、国や行政の施策や予算が必要なことを伝えていきます。

Q 一閑育成牧場を閉鎖した後は、室根高原牧野が受け入れを担うと思われるが、要員数や採草地、放牧地などは十分なのか。

A 現状では、7人を配置しています。採草時期は増員し対応してまいります。



Q J-クレジットについては、主に法人が取り組んでいると聞いているが、個人の取り組み状況を教えてほしい。

A J-クレジットの取り組みは個人が多いです。中干した日数を記録し、入力や報告は全てスマー

トフォンで行い、書面ではできません。令和6年度は83件の申請があり、32件が該当しました。令和7年度は取組者が増え、現在審査中です。取組みを希望する方は、米穀課または営農経済センターにご相談ください。

Q 土壌診断をして生産コスト削減を図るとのことだが、診断結果により不足する成分のみを単肥で散布するとかえって生産コストが上がるのではないか。また、水田100圃場を診断する



とあるが、診断結果に基づいた営農指導がなければならぬ。ただ土壌診断をただで終わらな

A 適量以上に肥料を入れている生産者もあり、土壌診断により肥料を減らすことが可能であるなどの指導につながります。診断箇所を各営農経済センターで抽出し、コスト削減の観点から土壌診断を実施していきます。

Q 園芸のハウスリース事業について、1カ所検討している先とはどこか。頑張ってみようと考え

ている若手がいるが、自宅から遠いなど理由があれば、希望する人はいないのではないか。

A 平泉地区で検討している場所があります。資材価格の高騰により、ハウスやかん水装置、貯水施設などを含めた建設費用は約1億円で、補助金を利用して費用負担は約500万円、返済期間も10〜15年となるため、品目も吟味する必要があり、冬場も効率的に利用していかねばなりません。新規就農者には、遊休施設の活用を案内しています。

◎信用・共済部門関連

Q 支店での待ち時間が1時間以上となる場合がある。支店ごとの平均来客数が知りたい。

A 1日の平均来客数は、基幹支店で約100〜200人、コミュニティ支店で約50人となっています。

Q 昼時間に支店を利用したい人に対して、職員が交代しながら対応できないか。

A 窓口休業時間があるのは、コミュニティ支店の東山・藤沢・平泉支店の3店舗です。必要最



低限の職員を配置しているため、休業時間を設けています。

銀行でも取り入れているところもあります。基幹支店は営業しているため、そちらをご利用いただけます。ご理解をお願いします。



◎経済部門関連

Q 農薬が足りなくなり、午後5時を過ぎてから営農経済センターへ購入しに行ったが、営業時間外で機械が閉まっていたため、対応してもらえなかった。手書きでもいいから販売してもらえないのか。また、土日の営業はして

A 土曜日は年間を通じて午前中営業していますし、4月〜5月は日曜日も営業しています。誤入力防止のため、手書き伝票は使用を制限しています。

Q 生産資材の配送体制をJA配送からJA全農

物流に委託変更することで、JAにどのような効果があるのか。

A 委託により、職員の人員不足と配送員の高齢化に対する懸念を解消することができると考えています。また、農協法に基づき行っている農家配送に対し、運送業法に抵触することがないよう法令遵守を図ります。

Q 肥料の予約注文価格と実際の供給価格が著しく違っていたが、資料にはその点について何も掲載されていない。供給後、肥料価格が高くなったと説明されたが、販売方法に問題があるのではないか。

A 予約注文価格は例年通り概算価格で提示しています。これまでは、大きな変化はありませんでしたが、船運賃や為替など市場情勢で変動することをご理解いただきたいと思います。



◎経営・総務・管理部門関連

Q 組合員割引や特別価格を設定してほしい。正・准組合員のメリットを教えてください。

A 令和7年度から、正組合員の方で、一日人間ドックの脳MRIオプションと専門ドックの受診者に助成金を出しています。購買事業でもメリットを検討していますが、物価上昇により値下げができない状況です。今後も、JAへの加入メリットを検討し、示していきたいと考えています。

Q 新しく組合員になった若手の人や大きく農業をしていない人などは常勤役員と対話する機会がない。後継者と役員が対話できる機会を設けて、組合員教育などの指導をしていただけませんか。

A 親から組合員資格を引き継いだ方などへの組合員教育の機会の設置について検討したいと思います。



Q 一斉訪問は組合員全戸を回ったのか。職員は年に2回ぐらいは来て、顔を見せた方がいいのではないか。ますます組合員離れになる。

A 以前は組合員全戸を回っていましたが、正職員が減少しており、平均一人100戸の訪問となるため、現在は各農家組合2戸の訪問としています。

◎その他の主な意見・要望

・こしえるに掲載されている理事のコメントを読んでいるが、力強いコメントに勇気づけられている。後継者不足や燃料費の高騰など厳しい農業情勢に一致団結して立ち向かってほしい。

・食料品に対して消費税が課税されない方向だが、生産資材に対しては消費税がかかる。JAとして、農政活動についてもっと働きかけてほしい。

・JAが各地区を回って座談会を行うことは大変良いことだと思うので、「いつもと同じだった」とならないよう、魅力のある話や商品説明など身になる話をしてほしい。

・米出荷の申し込みをスマホで送るシステムにしてほしい。

・園芸の記録簿をデータで管理しているが、紙媒体で提出しなくてはならない。データで提出ができるようにしてほしい。

